

収蔵品紹介

「吸入器」



のどや気管など主に呼吸器の治療に使う家庭用の医療器具です。水や薬を霧状にして口から吸入できるようにします。ぜんそくや風邪を引いたときなどに使われました。

資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料の収集、保存、展示などを行っています。後世に伝えていくために、資料収集へのご協力をお願いいたします。
資料によってはお受けできない場合もありますので、まずはお電話でお問い合わせください。

トピックス

●「ミュージアム干支アワード2022」に参加しました

インターネットミュージアム主催の「ミュージアム干支コレクションアワード2022 虎」に、収蔵品「虎の絵が描かれた千人針」で参加し、93 エントリー中 5 位にランクインしました。

●大阪市立阿倍野市民学習センターとの連携事業を実施しました

2022 年 8 月に、大阪市立阿倍野市民学習センターとの初の連携事業として、パネル展示や講演会、映画上映会を阿倍野市民学習センターで開催しました。

大阪空襲死没者名簿について

第2次世界大戦末期、50回を超える空襲により、大阪では約1万5,000人の犠牲者が出たといわれています。

ピースおおさかでは「大阪空襲死没者名簿」を保管しており、館内に設置している検索システムで、名簿情報（非公開分を除く氏名・年齢・性別）を閲覧することができるほか、中庭には、



大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」も存在します。

2022年3月時点で判明している大阪空襲死没者は9,143名です。ピースおおさかでは、名簿の追加申請なども随時受け付けています。

大阪空襲で亡くなられた方にお心当たりがある場合は、ピースおおさかまでお問い合わせください。

平和寄金へ ご寄附のお願い

大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」の整備・維持、当館で開催している特別展や企画事業などは、寄附金（平和寄金）をもとに実施しています。

戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へしっかり引き継いでいくため、平和寄金にご寄附をお願いいたします。

銀行振込※	寄附申込書を振込手続きの前に当財団事務局へ郵送又はFAXをしてください
送 金	当財団事務局へ送金いただく際、寄附申込書を同封してください
持 参	寄附申込書を当財団事務局へ持参ください (なお、持参日を事前にお知らせください)

※寄附金は「寄附金控除」の対象になり、税の優遇措置が受けられます。
※銀行への振込口座につきましては、ピースおおさかまでお問い合わせください。
※寄附申込書は当館又はHPからダウンロードして取得できます。

<平和寄金へご寄附いただいた皆様>

郡久和、小林晴躬、ピース・ウエスト 評議委員長 生田幸広
(匿名ご希望の方を除く)
(2021年12月～2022年11月の間に1万円以上ご寄附の方。敬称省略)
ご寄附いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示などの催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。		
会 費	◇個人会員	年額2千円	※何口でも結構です。
	◇団体会員	年額1万円(1口)	
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行) ◇郵便局振込		

ピースおおさか
ご利用あんない

- 団体見学の見学申込受付
- 戦争と平和に関する展示・映画上映
- 平和学習協力者（語り部さんや平和紙芝居演者さんなど）のご紹介
- DVDやパネルなどの団体向け資料貸出

公式 Twitter・Facebookでも
最新情報を発信中！！

Twitter

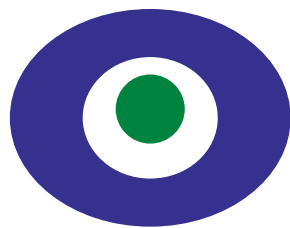


Facebook



<問い合わせ先>

ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080



このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、
平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム

ピースおおさか

OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2022
(令和4) 12/22
No.50

編集・発行 / 公益財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号

TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
ホームページ http://www.peace-osaka.or.jp

ピースおおさか 新作アニメ 「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」完成！！



戦時中の動物園、 ひとりの飼育員とヒョウの物語

戦時中、空襲で動物たちが逃げ出す危険を未然に防ぐために、動物園では猛獣の殺処分が行われました。大阪にある天王寺動物園も例外ではありませんでした。

ピースおおさかでは、天王寺動物園での実話をもとに、約30年ぶりとなる新作アニメを制作しました。

10月1日の完成披露上映会では、天王寺動物園の向井園長にお越しいただき、天王寺動物園の歴史などについてお話いただきました。

アニメは、定時映画として1日2回上映しているほか、DVDでの団体向け資料貸出も行っています。



特別展「大阪の平和資料館」

2022(令和4)年10月1日(土)～2023(令和5)年2月5日(日)まで開催中！

協 力：堺市立平和と人権資料館 豊中市立人権平和センター 豊中 吹田市立平和祈念資料館

府内4つの平和資料館が一堂に会する初めての特別展

今回の特別展は、堺市、吹田市、豊中市にある3つの平和資料館との連携企画です。

各地域にはどのような平和資料館があるのか、その内容や取り組みなどを展示しています。

また、大阪を飛び出し、滋賀県平和祈念館、人道の港 敦賀ムゼウム、姫路市平和資料館、舞鶴引揚記念館といった関西圏にある平和資料館についても紹介しています。

平和資料館を知ることから、各地域の歴史に触れてみませんか。



ピースおおさか 2021(令和3)年12月から2022(令和4)年11月までの主な事業

特別企画「ユダヤ人たちの救済に尽力した外交官」

開館の日 平和祈念事業 講演会「正義の外交 Righteous Diplomacy」

2022(令和4)年9月11日(日) 午後2時～4時

主 催: European Network Remembrance and Solidarity(記憶と連帯の欧州ネットワーク)

共 催: ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)

協 力: 駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

参加者: 94名

講演会では、ホロコーストの生還者で、ポーランド在住のエルジュビエタ・フィツォフスカさんのインタビュー映像の上映のほか、名城大学都市情報学部の稲葉千晴教授と、ENRS運営委員会メンバーで、クラクフ教育大学のヤン・リーデル教授には、ユダヤ人避難民の救済に尽力した人々についてお話いただきました。

当日は、ラファウ・ログルスキ代表をはじめとしたENRSのメンバーが来日されたほか、各国の大使館や総領事館などから、多数の関係者が来賓として参加されました。



映画「ボルドーの領事」上映会

協 力: ポルトガル大使館

9月の毎週土曜日に、第2次世界大戦中の在ボルドー・ポルトガル領事、アリステイディス・デ・ソウザ・メンデスを描いた映画を上映しました。



9月10日の上映会では、ポルトガル大使館からティアゴ・マウリシオー等書記官と清水ユミ補佐官にお越しいただき、映画上映前に、ソウザ・メンデスや当時のポルトガル情勢などについてお話いただきました。

また、特別展示室では、ソウザ・メンデスに関するミニパネル展(8月25日～9月18日)も実施しました。

特別展「タデウシュ・ロメル 駐日ポーランド共和国大使と 極東のユダヤ人戦争避難民」

2022(令和4)年8月25日(木)～9月18日(日)

協 力: ポーランド広報文化センター

参加者: 3,072名



タデウシュ・ロメルは、初代駐日ポーランド共和国大使を務めた外交官です。“命のビザ”を手にしたポーランドの人々が最終目的地にたどり着けるよう、日本や上海で支援に奔走しました。特別展では、タ

デウシュ・ロメルとポーランドの避難民について、パネルや映像で紹介しました。

大阪大空襲 平和祈念事業

講演会「どうぶつのいのちをつなぐ-天王寺動物園の新しい役割-」

2022(令和4)年3月13日(日) 午後2時～4時

参加者: 105名(会場参加者83名、Zoom 参加者22名)



開館30周年記念特別展「どうぶつのいのちとへいわ～戦時下の天王寺動物園とこれからの未来～」の関連イベントとして、天王寺動物園の動物専門員である井出貴彦さんによる講演会を行いました。

講演会では、これまでの歴史に触れつつ、現在の動物の取り巻く環境、特に「動物福祉」のことを中心にお話いただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大状況も踏まえ、今回はZoomでの同時中継という初の試みも行いました。

終戦の日 平和祈念事業

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

協 力: 学校法人相愛学園

日 時: 2022(令和4)年8月15日(月) 午後2時～3時

参加者: 120名

開戦80年 平和祈念事業

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

出演者: 桂春団治、桂花団治、桂咲之輔、笑福亭大智、はやしや都美礼(三味線)

日 時: 2021(令和3)年12月5日(日) 午後2時～4時

参加者: 138名

特別展

「ピースおおさか収蔵品展 2022～時代を語る資料たち～」

期 間: 2022(令和4)年4月16日(土)～7月17日(日)

参加者: 14,086名

出前展示

①大阪府・市立図書館

大阪府立中央図書館、大阪府立中央図書館をはじめ、市内各地域図書館

②大阪府立総合生涯学習センター

期 間: 2022(令和4)年7月12日(火)～7月21日(木)

内 容: 写真パネル、実物資料の展示

③大阪府庁本館

日 時: 2022(令和4)年10月6日(木)～10月20日(木)

内 容: 写真パネルの展示

学校・公共の団体が財団と協力して行った事業

①第38回大阪市小学校児童絵画・版画展

主 催: 大阪市小学校教育研究会図画工作部

期 間: 2022(令和4)年7月30日(土)～8月17日(水)

内 容: 281校から2枚ずつ選定された作品を前期・後期に分けて展示

観覧者: 約1,100名

②ユニセフシアター

主 催: 大阪ユニセフ協会

日 時: 2022(令和4)年11月3日(木) 午後0時30分～4時

内 容: 「グッド・ライ～いちばん優しい嘘」を上映

参加者: 101名

そのほか、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、ウィークエンド・シネマ、親子まつりなども実施しました。

ピースおおさかのキャラクター

「ピースバード」



写真展「占領下の大阪・関西～焼け跡から復興まで」

2022(令和4)年8月9日(火)～2023(令和5)年3月30日(木)

ピースおおさか 3階展示室

企 画・監修: 橋爪紳也(大阪公立大研究推進機構特別教授)

主 催: 毎日新聞大阪本社、ピースおおさか(大阪国際平和センター)

後 援: 大阪公立大研究推進機構観光産業戦略研究所

協 賛: コカ・コーラボトラーズジャパン

毎日新聞大阪本社に保管されていた秘蔵写真をもとに刊行された写真集「写真図説 占領下の大阪・関西」から厳選した約30点の写真を展示しています。



展示紹介

「戦時下の民家」

2階展示室にある戦時下の民家を再現した展示では、迫りつつある空襲に備え、生活していた様子を紹介しています。

各家庭では、防火水槽、火たたき、バケツ、防空頭巾などが備えられ、窓などのガラスには爆風による破片の飛散を防ぐために紙テープが貼られ、床下などには、防空壕が作られていました。夜は電灯の明かりが窓から外にもれないよう電灯の笠に黒い布がかぶせられました。

民家の前を通ると、空襲前夜の家族の会話が自動で再生されます。

